

ハンズフリー防水壁埋込マスター端末

N-8033MS

このたびは、TOA ハンズフリー防水壁埋込マスター端末をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの設置説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

■ 概要

IP インターカム交換機に接続して高音質のハンズフリー通話ができるマスター端末です。
別売の壁埋込／露出兼用ボックス YC-841 を使って、壁に取り付けることができます。
外部スイッチを接続できる外部ダイヤル入力端子が付いています。

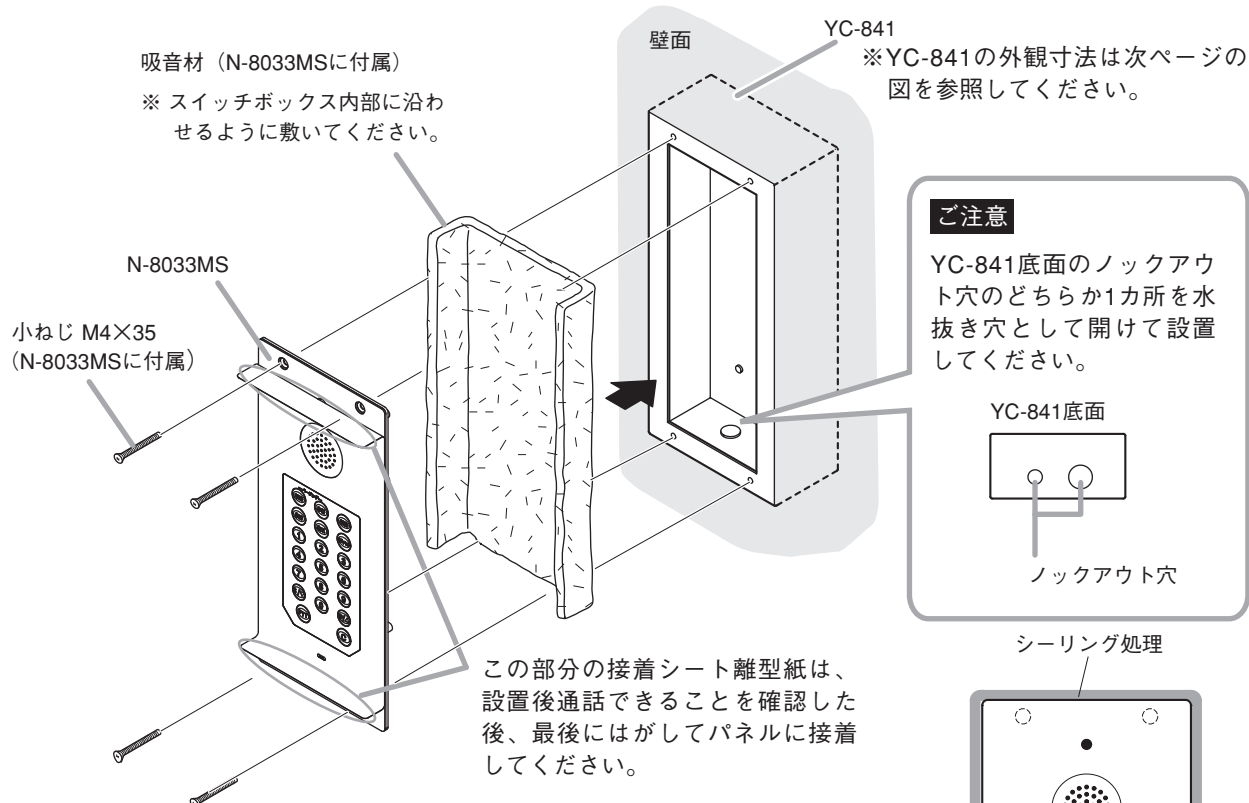
■ 使用上のご注意

前面操作パネルシートは消耗品です。(部品コード 115-51-303-30)
キー操作による使用 100,000 回 (約 3 年) を目安に、交換をご検討ください。
交換については、最寄りの当社営業所にお問い合わせください。

■ 壁への取り付けかた

● 壁に埋め込むとき

壁に取り付けた壁埋込／露出兼用ボックス YC-841 に N-8033MS を取り付けます。

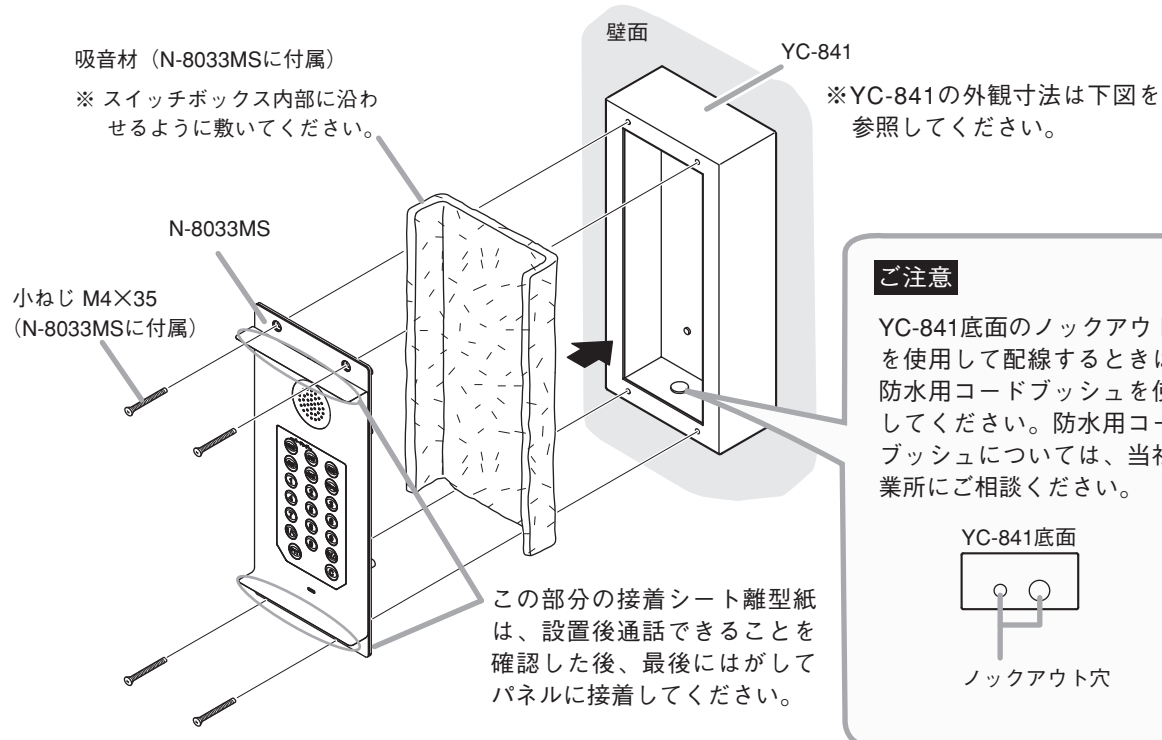


ご注意

防水が必要な場所に設置するときは、パネル外周をシーリング処理してください。
シーリング処理については、当社営業所にご相談ください。

● 壁面に取り付けるとき

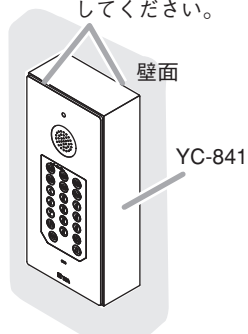
壁に取り付けた壁埋込／露出兼用ボックス YC-841 に N-8033MS を取り付けます。



ご注意

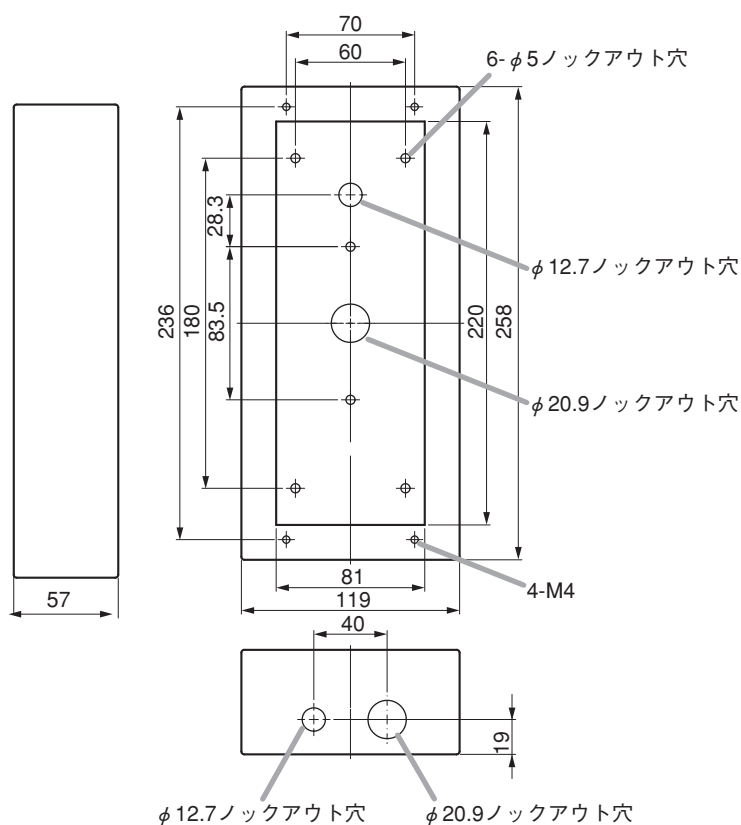
防水が必要な場所に設置するときは、パネル外周およびボックスと壁面の間の外周をシーリング処理してください。シーリング処理については、当社営業所にご相談ください。

外周すべてをシーリング処理してください。



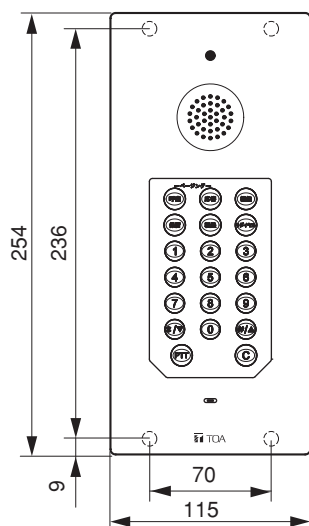
● YC-841 外観寸法図

単位：mm



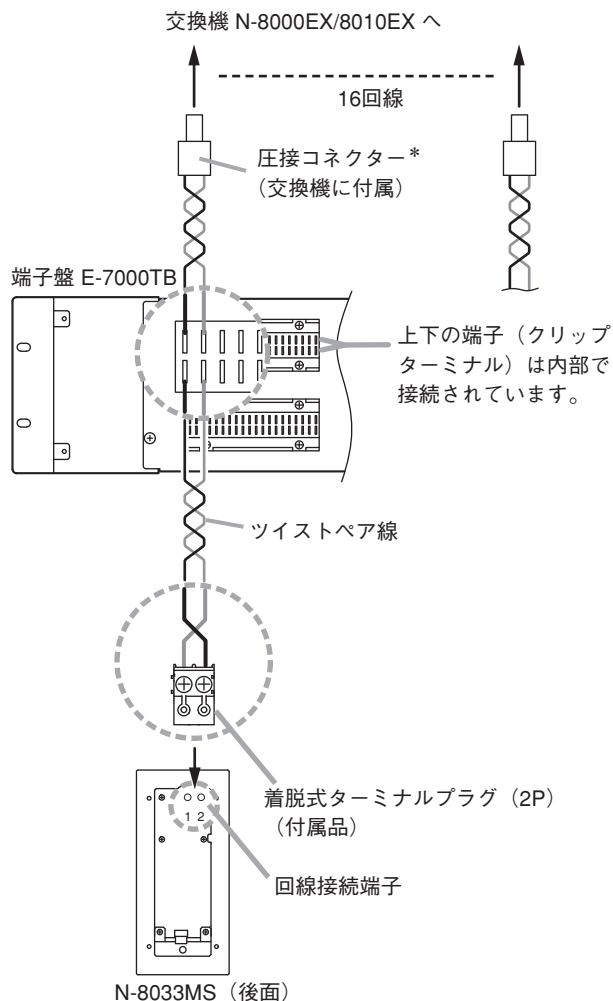
● 取付完成図

単位：mm



■ 配線のしかた

● 交換機との接続



交換機からのケーブルとの接続は、N-8033MS に付属の着脱式ターミナルプラグ (2P) を使用します。交換機との接続には、極性はありません。

* 圧接コネクタには、2種類のタイプがあり、どちらか一方が付属されています。詳しくは次ページを参照してください。

● 心線径と通達距離の関係

交換機と端末間の距離は、ループ抵抗が 170 Ω 以下になるよう、次の表を目安に設計してください。

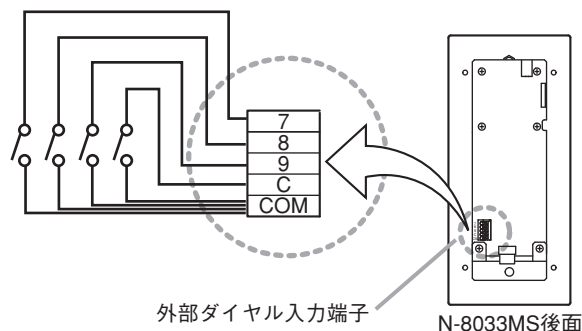
心線径 (mm)	ループ抵抗 (Ω /km)	交換機から端末までの最大延長距離 (ループ抵抗を170 Ω として算出)
ϕ 0.4	295	570 m
ϕ 0.5	187	900 m
ϕ 0.65	113	1.5 km
ϕ 0.9	58	2.9 km

● 外部スイッチとの接続

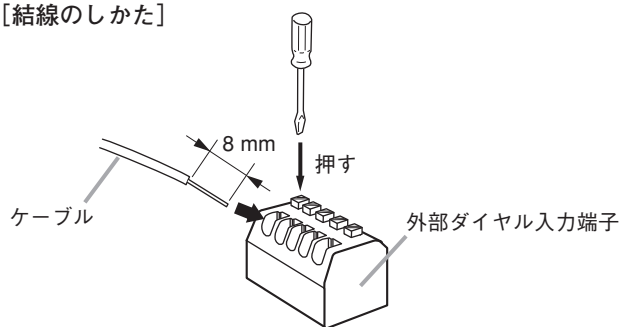
N-8033MS の外部ダイヤル入力端子に、フットスイッチなどの外部スイッチを接続できます。外部ダイヤル入力端子「7」「8」「9」「C」に接続された各スイッチで、ダイヤル「7」「8」「9」「C」を押したときと同じ操作をすることができます。各接点には、1 mA の電流が流れます。

ご注意

外部スイッチからの配線は 3 m 以内にしてください。



[結線のしかた]



● 線材の選定

使用する線材は、次の条件により選定してください。

- 交換機への配線は、原則としてツイストペア線（電子ボタン電話用ケーブルなど）を使用してください。
- ケーブルの対数は、将来の増設を十分に見込んだものとしてください。
- 点検のできない天井裏や床下などに配線するときは、屋外線を使用してください。ただし、熱気などによる障害の恐れがないときは、屋内線を使用することができます。

※ 各接続部の仕様は、次のとおりです。

圧接コネクタ (N-8000EX/8010EX 回線端子)

導体径: ϕ 0.4 ~ 0.65 mm (AWG22 ~ 26)、単線
外形 : ϕ 1.05 mm 以下

クリップターミナル (E-7000TB)

導体径: ϕ 0.4 ~ 0.8 mm (AWG20 ~ 26)、単線
外形 : ϕ 1.5 mm 以下

着脱式ターミナルプラグ (N-8033MS 回線接続端子)

導体径: ϕ 0.4 ~ 1.6 mm (AWG14 ~ 26)、
単線・より線

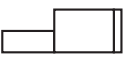
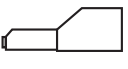
外部ダイヤル入力端子 (N-8033MS)

導体径: ϕ 0.8 ~ 1.3 mm (AWG16 ~ 20)、
単線・より線

● 圧接コネクターの結線

交換機には下記の A タイプまたは B タイプのいずれかの圧接コネクタが付属されています。（ 前ページ）コネクタのタイプにより、形状およびケーブルの接続方法が異なります。

[コネクタの形状（側面図）]

A タイプ	B タイプ
	

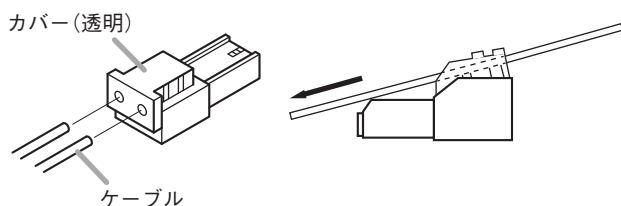
[ケーブルの接続方法]

1 圧接コネクタをケーブルに接続する。

1-1 2本のケーブルの先端を同じ長さに切断し、圧接コネクタのケーブル挿入穴に挿入する。

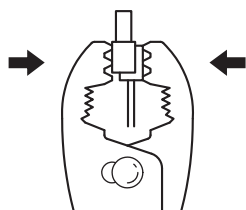
※ケーブルの被覆をむかずに挿入してください。

[A タイプのコネクタ] [B タイプのコネクタ]



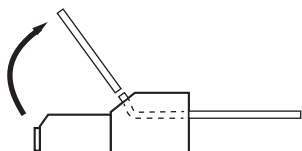
1-2 圧接コネクタのカバー全体をプライヤーで軽くはさみ、ケーブルの挿入を確認してから圧接する。

※ カバーが全体にロックされるまで、確実に押し込んでください。

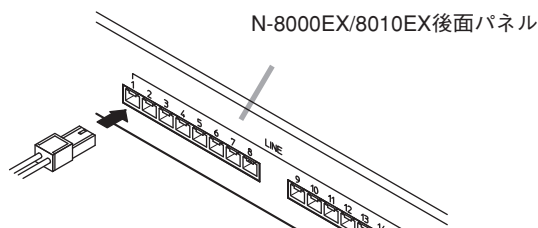


1-3 余分なケーブルをニッパーなどで切断する。
（B タイプのコネクタのみ）

ケーブルを図のように持ち上げ、ケーブルができるだけコネクタからはみ出ないように切断してください。

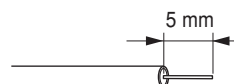


2 交換機のコネクタ（ソケット）に、ケーブルを圧接したコネクタ（プラグ）をロックするまで挿入する。



● 着脱式ターミナルプラグの結線

1 ケーブルの先端に約 5 mm のむきしろを作る。



ご注意

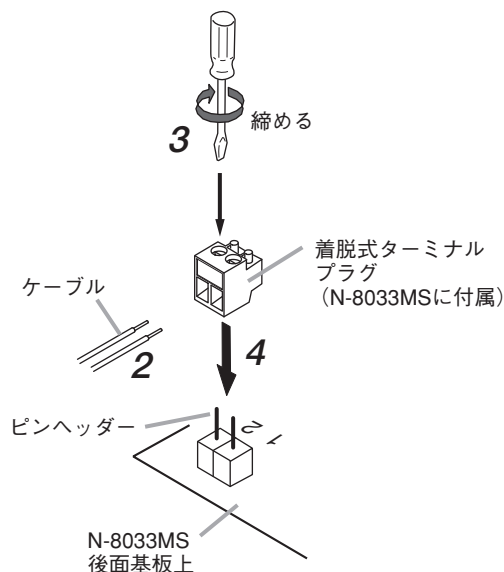
より線を使用するときは、むきしろ部分にはんだめっきをしないでください。

2 端子ねじをゆるめて、線材を差し込む。

3 端子ねじをしっかりと締め付ける。

- 線材を引っ張って抜けないことを確認してください。
もし抜けた場合は端子ねじをゆるめ、やり直してください。
- ターミナルプラグのねじに合った適切なドライバーを使用してください。

4 N-8033MS 後面基板上のピンヘッダーに、ケーブルを取り付けたターミナルプラグを挿入する。



商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA お客様相談センター
商品の内容・組み合わせ・取り扱い方法や修理に関するご相談にお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00（土日、祝日除く）

フリーダイヤル **0120-108-117**
ナビダイヤル 0570-064-475（有料）
FAX 0570-017-108（有料）
※ PHS、IP 電話からはつながりません。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>